

# 2020-2021 音の風 年次報告書



～風にふかれて～



# 音の風とは？

## What's OTONOKAZE?

「特定非営利活動法人音の風」は、

地域に暮らす人々とともに音楽を分かち合うものの育成と派遣を行い、

音楽を通して心の交流の機会を創出します。

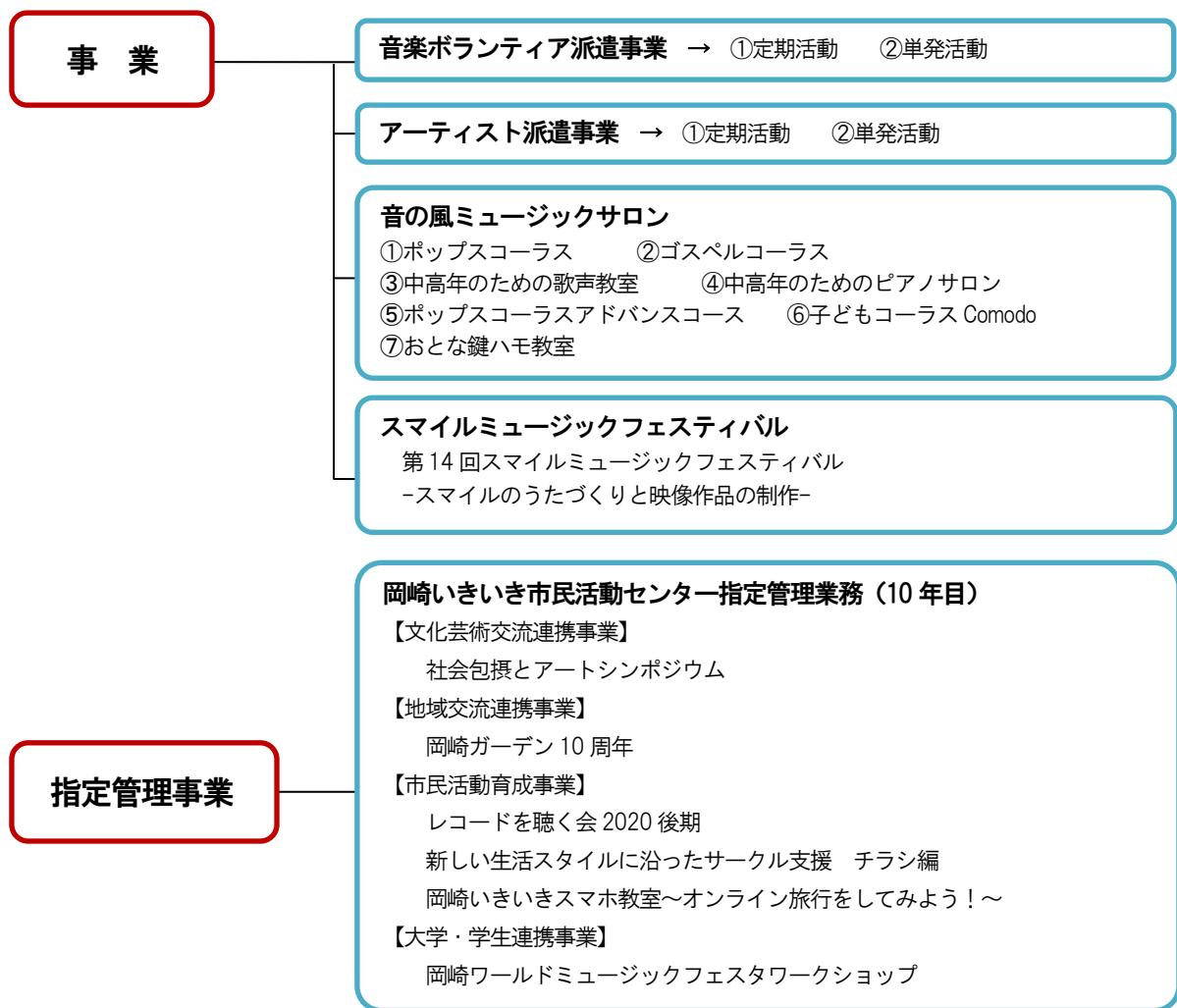
社会福祉へ貢献するとともに、音楽文化の向上につなげます。



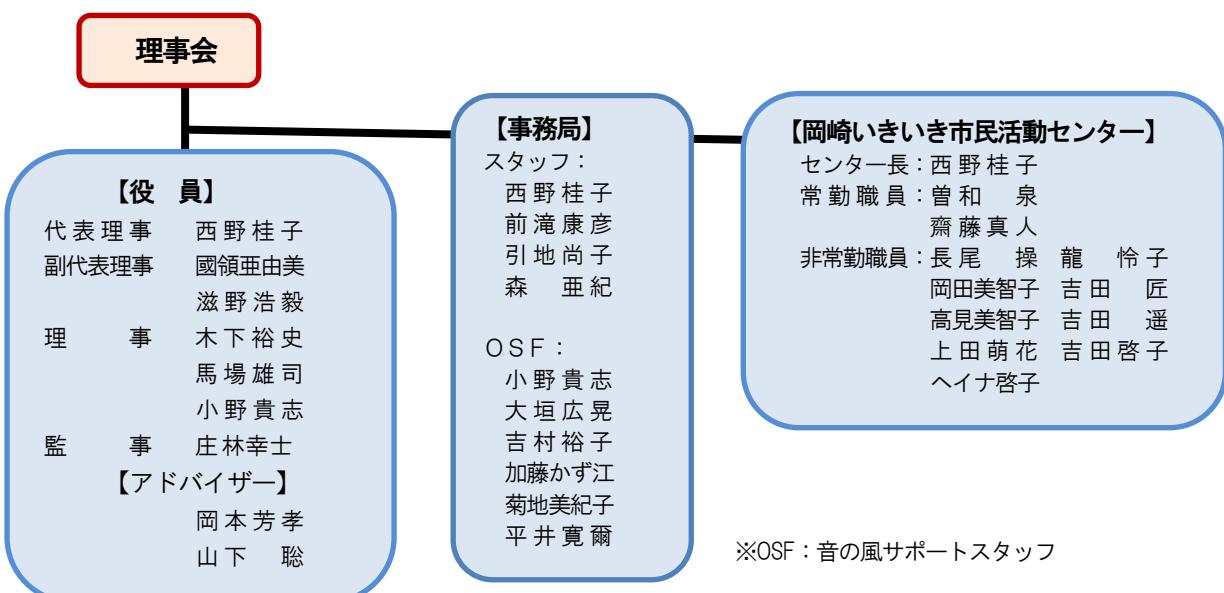
## — 目 次 —

2020 年度事業及び組織体制	2
「コロナ禍」が生んだ新たな“芽”	3
2020 年度のトピック	4
2020 年度事業報告	5
理事会・事務局	22
2020 年度のあゆみ	23
2021 年度 事業計画案	25
賛助会員・寄付者 / 関係先	28
ありがとう！「サポートセンターめい」	29
新聞に掲載していただきました	30

# 2020年度事業及び組織体制



## 事業実施体制



# 「コロナ禍」が生んだ新たな“芽”

副代表理事・滋野浩毅

「コロナ禍」と呼ばれる新型コロナウイルス感染拡大が始まってから1年余りが過ぎました。とりわけ、音楽を含む文化芸術事業は、「不要不急」とされ、次々と中止されました。音の風も例外ではなく、ミュージックサロンをはじめ、様々な事業が「中止」を余儀なくされました。

ただ、「コロナ禍」でどんな活動ができるか。みんなで知恵を出し合い、行動に移していきました。施設については、ガイドラインを作成し、より安全に利用していただけるようにしました。ミュージックサロンは、オンラインを使ったレッスンを行ったり、発表会を動画撮影し、配信するといった取り組みを始めました。入会案内ビデオを作成し、実際の活動ができない中で、会員獲得に向けた努力をしました。

昨年の巻頭言でも「『集まれない、参加できない、人と会えない』状態、『人前で演奏できない、教えられない、喜びを共有できない』状態。人が集い、音楽を通して社会を幸せにすることを目指す私たち音の風にとって、今はとても辛い時です。この状況はいつまで続くのか。また、どうすれば抜け出せるのか。誰も答えを持っていません」と書きましたが、少しずつ、そして手探り状態ではあるものの、私たちは、そして社会はコロナ時代の市民活動、文化芸術活動に対して、一つ一つ解決のための「答え」を出してきています。

コンサート、演劇、映画、オペラ、伝統芸能…このコロナ禍の1年で、動画配信を始めた文化芸術活動です。確かに「リアル」の持つ迫力には遠く及ばないかもしれません、これまで会場に足を運ぶことがなかつた、あるいはできなかつた人たちが親しむきっかけにつながり、新たな観客・聴衆の獲得にもつながっているそうです。またコメントやチャット機能を使い、演者と観客との双方向のコミュニケーションが生まれていることもあるそうです。音の風で言えば、これまでなかなか外に出向いて音楽に触れることができなかつた人たちにとって、こうした変化は新たな参加のきっかけになるかもしれません。

現在は、社会全体で感染拡大を防ぎながら場所や機会を提供する工夫がなされるようになり、密閉、密集、密接のいわゆる「3密」を避けながら活動が行えるようになってきています。そして今年のスマイルミュージックフェスティバル（スマイル）では、例年スマイルに参加している人たちなどとともに、対面やオンライン、手紙などを使って歌詞を作り、こじまいづみさんがそれに曲をつけ、完成した歌の動画をオンライン配信するといった、コロナ時代ならではの成果を生み出しました。

私たちは、確かに一刻も早い「コロナ終息」を待ち望んでいますが、終息後、単に「元に戻る」だけではさびしいです。終息後にも「誰もが楽しめる音楽とは」「誰もが参加できる音楽活動とは」といったことについて、今こそ共に考えてみませんか。

# 2020年度のトピック

## コロナ禍における音楽活動の模索—オンライン事業への挑戦—

コロナウィルス感染症拡大によって緊急事態宣言が発令され、さまざまな活動が自粛される中、今できることは何かを模索し続けた1年でした。音の風では、国や自治体の警戒レベルをもとに独自の感染予防ガイドラインを作成し、全ての活動を中止するのではなく、「できることをできる範囲で実施」する方向で進めてまいりました。

その中で、新しい活動の在り方の1つとして「オンライン事業」の可能性に手ごたえを感じているところです。ミュージックサロン事業では、無観客でのミュージックサロンコンサートや動画配信、オンラインレッスンなどに取り組み、スマイルや岡崎いきセンリブライブでは、映像作品をYouTubeで配信するなど、この1年で、取り組んできたさまざまなオンライン事業の1つ1つが挑戦の日々でした。1年を終えて、改めて諦めずに進んでいくことの大切さを実感しています。

### 【2020年度オンラインでの取り組み】

- ・2020年4月～ オンライン会議（理事会、事業の会議他）
- ・2020年5月～7月 ミュージックサロン事業「ミュージックサロン オンラインで講座」(P.11参照)
- ・2020年6月 音楽ボランティアメンバーによる「サポートセンターめい」プレゼント企画オンライン合奏制作 (P.29参照)
- ・2020年9月～ 京都女子大学地域連携事業「京女音楽宅配便」にてDVDの制作
- ・2020年10月～2021年2月スマイル映像作品の制作と動画配信 (P.9参照)
- ・2020年11月～12月 岡崎いきセン事業 オンライン利用者会議（全2回）
- ・2020年11月～ オンライン音楽ボランティア入門講座開催（月1回）(P.22参照)
- ・2020年12月～文化庁戦略的芸術文化創造推進事業（ロームシアターとのコラボ企画）「ダンス映像制作」  
①ダンサー北尾亘×京都市錦林児童館 ②ダンサー東野祥子×あおい苑
- ・2020年12月～2021年1月 ミュージックサロン事業ハイブリッド（オンライン&リアル）レッスン (P.12参照)
- ・2021年1月9日 ミュージックサロン事業 ミュージックサロンコンサート無観客コンサートと動画配信 (P.12参照)
- ・2021年1月 岡崎いきセン事業 社会的包摶とアートシンポジウム動画配信 (P.20参照)
- ・2021年2月～3月 ミュージックサロン事業ハイブリッド（オンライン&リアル）レッスン（緊急事態宣言期間の為）
- ・2021年3月 子ども夢基金助成事業「じゅうなおんがく！じゅうなダンス！」錦林保育園とアーティストのオンラインワークショップ (P.13参照)



子ども夢基金助成事業

「じゅうなおんがく！じゅうなダンス！」

## オンラインツール（Zoom）を活用した新たなコミュニケーションへの期待

### ～岡崎いきいき市民活動センター利用者会議の事例から～

センターでは毎年1～2回、利用者会議を開催しています。利用場の注意事項や防災に關すること、市民活動に關する講座や、現在であればコロナ注意喚起など、内容は盛りだくさん。例年であれば各回10～20組に参加していただきましたが、

2020年度は、オンラインによる利用者会議の開催となりました。

注目すべきは、参加してくれた方々の年齢層です。60代から上は80代まで、スマートフォンの操作もままならないという方も多い中、オンライン会議に挑戦してみようと一歩踏み出されました。年齢に関係なく、新しいことにチャレンジしてみようとする気持ちが大切だと感じています。事前にZoomのインストールや使い方の説明を行い、結果的には例年より多い2日間で50組もの参加をしていただくことができました。

現在、病院や入所施設での面会も中止となっていますが、中にはオンライン面会をしているところもあります。今後、このようなオンラインツールが対面の代替ツールとして活用されるだけでなく、対面とオンラインをその時々で選択しながら有効に活用する時代に入るのではないかと感じます。センター利用者会議の事例から、中高年のみなさんが予想以上にZoomを活用される姿を見て、新たなコミュニケーションへの期待が膨らみました。



# 2020年度事業報告

## 事業報告 1

### 音楽ボランティア派遣事業：定期活動

「定期活動で一緒に歌うことが楽しみでした。

また再開（再会）できることを楽しみに♪」

音楽ボランティア派遣事業定期活動音楽による余暇活動の支援を行っています。  
約45～60分のプログラムを進めます。

コロナ禍になり、施設への面会制限などもある中、ボランティア派遣の受け入れも厳しい状況が今も続いています。高齢者や障がい者の施設の現場が多いため感染予防対策をし、気を付けなければいけません。歌を歌うということが飛沫感染のリスクにもなり兼ねません。今年度は広い会場に場所を移して、距離を取ったり、プログラムでは鑑賞や音楽に合わせた体操を中心とした内容で工夫をして行いました。



月輪すこやか学級にて  
吉村さんのバイオリン演奏

Pick up!

#### デイサービス やすらぎ

やすらぎデイサービスには庭があり、バラや樹木、季節の花や野菜が植えられています。室内には利用者さんが色花紙で制作された花風景があり、楽しく過ごされた様子がうかがわれます。その中で音楽レクがあります。昨年2月までは歌いながら軽い体操、唱歌や懐メロなどを歌い、手遊び、ゲーム、音の風メンバーによる演奏の鑑賞を行っていました。

しかし、2020年は新型コロナ感染症の流行のため活動できたのは1回のみ。歌うのではなく曲を聴き、消毒済み小物打楽器演奏、距離を取っての手遊び、サックス演奏鑑賞などになりました。演奏鑑賞は人気があり、終わると「もっとやってーなあ」と笑顔の声がかかりました。最後に“高原列車は行く”の曲でティッシュを1枚ずつ振ってとても盛り上がりました。マスク・フェイスシールド装着でしたが、音楽は誰でも楽しむことができ、時には慰められ、元気になります。このような時こそますます必要とされます。皆さんの笑顔と早いコロナの収束、活動の再開を待ちたいと思います。

(Report: 河野まゆみ)

活動先	担当	回数
葵デイサービス	溝川	0
やすらぎ	河野	1
清水学区健康すこやか	水沢	0
フェアウインドきの	岡本	0
洛東園デイサービス	井崎	0
粟田学区健康すこやか	三井	0
サポートセンターめい	菊地	0
宇多野病院	今井	0
月輪学区健康すこやか	吉村	1
有済学区健康すこやか	水沢	0
合計		2

#### <2020年度 音楽ボランティア派遣事業総括>

活動件数：2件(前年比-98%)

定期活動：10ヶ所2件 収入4,400円 支出200円 (2019年度10ヶ所91件 収入149,020円 支出55,606円)

単発活動：0件 収入0円 (2019年度24件 収入71,865円)

担当者：河野、吉村（溝川、小川、岡本、水沢、三井、今井、井崎、米谷、菊地、初田、他）

事業収入：4,400円 (2019年度 220,885円 前年比-98%) 事業支出：200円

新型コロナ感染症の影響により、ボランティア活動はほとんどできなかつた。ご家族の状況、ご自身の環境などで活動できない会員も多く、今後の活動再開時にはグループリーダーやメンバーの再構成が必要になる場合も想定される。

また、「サポートセンターめい」が3月末にて閉鎖となり、約18年設立当初から長く続いた活動も終了となつた。

## —コロナウィルス感染症における地域のボランティア活動の現状と今後むけて—

今年度は、コロナウィルス感染症拡大という、かつて経験したことがない1年となりました。地域では、大人数が集まるお祭りなどのイベントはもちろんのこと、小さな集まりの開催にも制限があり、ボランティア活動もほとんどが中止を余儀なくされています。

実際に、この1年、地域ではどのようなことが起きていたのでしょうか。また、今後私たちはどのような活動につなげていけばよいのでしょうか。京都市福祉ボランティアセンターの藤井さんと石川さん、そして音の風の活動拠点である東山区に所在する、京都市東山区社会福祉協議会の越野さんにお話を伺いました。

### 【京都市福祉ボランティアセンター】

Q: この1年、事業はどのような状況でしたか？

A: 京都市の指針に従い大人数が集まる研修会は中止、少人数で密を避けて開催したこともあります。オンライン入門講座では、むしろ対面よりもたくさんの方に視聴いただきました。学校でのボランティア教育に役立つたり、オンラインでの可能性に期待しているところです。

Q: ボランティア活動の状況は？音楽活動グループは？

A: そもそも活動自体がなくなっていることもあるけれど、9割くらいは、コロナ感染拡大と予防の観点から自粛されていました。音楽グループの中には、施設での活動用にCDを制作され配布されたり、他には、活用してほしいと、歌を録音したデータをセンターに送ってこられたりするケースがありました。

Q: この1年、またはこれからのボランティア活動の形は？

A: 「寄付ボラ」の提案もしたい。実際に受けないけれど貢献できることはあります。大型イベントの開催は当面期待できないので、テーマ型（例えばこども食堂のような）のこぢんまりとした勉強会の充実を考えています。とにかく今は、活動が再開したときのために研修会への参加を促したり、情報提供を行っていきたいですね。広報誌での、オンライン会議や「宅飲み」の開き方のページはとても好評でしたので、どういう形でも現場が動いていくことが必要です。まずは、ボランティア希望者のニーズをしっかりと受け止めて行きます。

Q: 音の風のメンバーに向けて一言お願いします。

A: こんな状況だからこそ、正しく恐れて、今の自分ができることを、まずは1歩前に踏み出して欲しいです。



手前側 藤井さん 奥 石川さん

### 【京都市東山区社会福祉協議会】

Q: この1年、地域での事業はどのような状況でしたか？

A: ほとんどの事業は中止または延期となっていました。講座は、人数縮小をしてオンラインとのハイブリッドで開催するなど、できる形を模索しながら取り組んでいました。



越野さん

Q: 健康すこやか学級の活動状況はいかがでしたか？

A: 第一波以降、6月にはほとんどが活動を再開されました。地域では、自粛中にフレイルが進んだり、入院や入所が相次いだとして、出かける場があることの重要性を再認識されたようです。ですので、コロナ禍であってもすこやか学級を再開することに対しては前向きだったと思います。しかし、第三波では、京都市での感染状況も100人を超えて、医療現場のひつ迫もあり、7割ほどの活動は中止となりました。

Q: 開催するにあたり何かされたことはありますか？

A: まずは地域のお世話役の皆さんを対象に、医療機関から感染症予防の専門家を招き研修を行いました。すこやか学級を開催するにあたり、一番困ったのは、飲食ができないことと、歌が歌えないことです。今は食事なしでも集うことを優先し、工夫しながら開催しています。

Q: 今後の再開に向けて、音の風メンバーに向けて一言お願いします。

A: まだまだ歌う活動は制限せざるを得ないので、歌以外の音楽プログラムと一緒にアイデアを出しながら検討できたらうれしいです。また、ハミング程度ならよいの？など研究の情報などあれば知りたいです。

どんな時でも心で通じ合う音。

『心弾む』と『心和む』素敵な時間を大切にしながら・・・

アーティスト派遣定期活動では、かしの木学園や洛西ふれあいの里ディサービスなどの音楽療法のほか、山科歌声教室やウクレレ教室のような障がいのある方々との音楽レッスンの活動などを行っています。山科歌声教室やウクレレ教室は、今年度は全面的に中止となりました。コロナ禍ではありましたが、感染予防対策をしながら引き続き音楽療法、音楽活動に来てほしいという要望もありました。

新型コロナウイルス対応のガイドラインに準じ、感染予防対策や、体調管理チェックシートへの記入を行いました。プログラムはストレッチやダンス、手拍子や足拍子など身体リズム遊び、スカーフやリボンなど視覚や触覚を楽しみながら、職員さんとのやりとり中心に行いました。また歌唱のリクエストの場合は鑑賞や、感染防止シートをセッティングして、その中で歌って頂いたり感染予防対策を徹底して工夫しながら、活動を行っています。



2020年7月LPW 法然院ライブにて。

トーンチャイムで「ふるさと」を演奏中の  
バンド「ブルースカイ」の皆さん



同ライブにて。ビートルズファンで構成  
されたバンド「ブラックバーズ」による  
演奏と、観客の皆さん



使用楽器のご紹介。手前からフレームドラム、パ  
ドルドラム、トーンチャイム、ジャンベ、レイン  
スティック、ウインドチャイムです

Pick up!

### NPO 法人 若者と家族の ライフプランを考える会 (LPW)

新型コロナウイルス感染症が発生し、ステイホームを余儀なくされ、定期活動は減少し単発活動は延期や中止となる中、LPW では、活動を中止することは、利用者さんにとって過酷なことになるので、いかに活動を継続して体調管理をするかを職員さんと話し合いました。

オンラインは、環境設備が整わないので、自宅からビデオレターで今まで通り週に一度、音楽療法活動プログラムを行うことになりました。まず自宅からピアノ演奏を動画録音し、職員さんサポートにより CD を作成。曲に関する問題と、感想文を記入するプリントを CD と一緒に職員さんから利用者お一人お一人に郵送され、また返信して提出して頂くという通信教育的な活動となりました。形は変わっても継続することで繋がれていることの安堵さからか、体調を崩される方も無く、この期間を乗り越えることができました。この活動を通して音楽は私たちの生活と共存しているということを実感しました。

(Report: 大槻みゆき)

活動先	担当	回数
グランダ山ノ内	大槻	0
洛西ふれあいの里 ディサービス	今井・大槻	38
LPW (ひきこもり支援)	大槻	48
LPW (演奏指導)	西野靖	20
櫻原居宅支援センター	今井	0
PPP サークル		
大原野の杜	今井・大槻	19
なづな学園	八木	18
かしの木学園	八木・今井	24
山科歌声教室	小河	0
山科ウクレレ教室	駒井	0
大照学園		0
山科ぶらんこ	吉田	7
生活介護事業所 心夢	河野	1
個人セッション	西野	0
合計		175

今出来ることを工夫して  
音楽を届けよう・・・

敬老会や、クリスマス会、地域のイベントでの単発依頼、地域の高齢者サロンなど依頼は様々です。今年度は各地域のイベント事業が中止のことが多く厳しい状況ではありました。それでも引きこもり支援をしている団体へバンド指導やレコードティングをしたり、鑑賞のみのプログラムでの依頼もありました。

集まつて歌うことが制限される中でも、音楽の鑑賞などで音楽に触れて少しでも心が安らぐことができる時間を持て、マスク越しではありますが、表情が緩んでおられる様子を拝見し嬉しく思いました。「久しぶりに和やかな時間を過ごすことができた」など感想をいただくことでどんな時でも音楽というものは開放される何かがあることが嬉しく、どんな状況でも今出来ることを工夫して行うことも大切なことだと感じさせられました。

Pick up!

中京区朱雀第三学区自治会館

11月14日、朱雀第3学区自治会館で行われた高齢者のつどいにて、妻と一緒に演奏させて頂きました。

コロナの状況下という中ではありましたが、皆さんたいへん楽しみにしていてくださいり、万全の体制をとった上で実現したつどいでの演奏でした。会場には、地域の皆様、総勢20数名の方がお集まりくださいました。

演奏は皆さんとの間に透明な大きなシートを挟んでの演奏にはなりましたが、皆さんと同じ空間で、共にとても楽しい時間を過ごさせて頂きました。内容としては、安里屋ユンタ、十九の春、涙そうそうなど、お馴染みの曲と合わせて、古くからの民謡もはさみ、最後には皆さんにかんたんな踊りをしていただいてのカチャーシーで終わらせて頂きました。また、前半と後半に分けての演奏で、合間にギターの方による唱歌などの演奏もあり、とても楽しく皆さんと過ごさせて頂きました。

長引くこの状況下で、気持ちも沈みがちになることもあるかもしれませんのが、こんなときだからこそ、音楽の力で皆さんと共にこの状況を乗り越えて行けるといいなと思います。

(Report:玉城忍)

活動先	回数
月輪健康すこやか学級	3
稚松くつろぎひろば	1
中京区朱雀第三学区自治会館	1
LPW 法然院ライブ	2
LPW 訪問演奏指導ほか	4
ローム座談会	1
あおい苑	4
錦林児童館	5
<b>合計</b>	<b>21</b>



中京区朱雀第三学区自治会館にて  
玉城さんの三線を聴く皆さん

<2020年度 アーティスト派遣事業総括>

活動件数：196件（前年比-43%）

定期活動：13ヶ所175件 収入1,699,638円 支出1,140,592円

（2019年度15ヶ所311件 収入2,533,912円 支出1,777,213円）

単発活動：21件 収入289,000円 支出222,135円（2019年度34件 収入570,286円 支出413,852円）

リーダー：西野、今井、大槻、八木、駒井、小河、河野、吉田、西野靖 他

事業収入：1,988,638円（2019年度3,104,198円 前年比64%）事業支出：1,362,727円

障がい者施設や高齢者施設の音楽療法、音楽レクリエーション、講師派遣、またイベントの演奏を行った。アーティストは規約に該当する者で、契約書を交わし登録を行っている。定期活動136件減の昨年度比-44%（2019年度311件）、単発活動-38%（2019年度34件）となっている。新型コロナ感染症の影響により、定期活動、単発活動共に厳しい状況ではあったが、感染予防対策をしながらご依頼に応え活動できたことを幸いに思う。



### 今私たちにできることを —映像作品「生きて生きていきたい」の制作—

2006年から、障がいのある方とともに音楽を楽しむイベント「スマイルミュージックフェスティバル」を開催し、今回で14年目を迎えました。昨年度、13回目を3月に開催する予定で準備を進めていたところ、コロナウィルス感染症の影響により中止になり、更に、今年度の開催についても協議したところ、大人数が集まるイベントという形での開催は困難と判断せざるを得ない状況となってしまいました。

出演者のみなさんは、毎年このイベントの出演を楽しみにされています。今回も中止の意向を伝えたところ、何かできることをしたいという意見が多く、その中で、スマイル出演者から歌詞（言葉）を募り、それにメロディをつけてうたづくりをしたいという声が上がりました。そして完成した歌は、音の風のメンバーに歌って欲しいという希望もありました。

そこで、今回スマイル出演者とともにうたづくりを進めるとともに、その一連の制作プロセスとスマイル出演者のみなさんの普段の活動の様子を映像に収め、YouTubeでの作品公開という形で今年度の取り組みといたしました。

#### 【運営】

##### ●スマイルミュージックフェスティバル実行委員会

NPO法人音の風、京都市東山区社会福祉協議会、  
京都市東部障害者地域生活支援センターらくとう、  
京都市東山青少年活動センター

※本年度はコロナウィルス感染症拡大防止の観点から、通常の対面による実行委員会は開催していません。今年度は主に、音の風と東山区社会福祉協議会とで進めました。



うたづくりWSふれあい会の皆さんと

## 【事業】

### ●スマイルミュージックフェスティバル映像作品の制作

①うたづくりワークショップ 講師 こじまいづみ

2020年11月23日（月）ふれあい会 5名

2020年11月24日（火）工房ソラ 10名（オンライン）

上記2か所でのワークショップで作成した歌詞と、

他の出演者4か所から募集した歌詞をモチーフに曲作りを行った。

### ②出演者施設での映像撮影

2020年12月4日（金）なづな学園 15名

2020年12月8日（火）かしの木学園 10名

2020年12月13日（日）友克&ヤス with powerful family's 7名

2020年12月16日（水）大照学園授産部 15名



なづな学園での活動の様子

### ③歌の練習ワークショップ 講師 こじまいづみ

2021年1月21日（木）

参加者：ミュージックサロン子どもコーラス Comodo 6名

2021年1月22日（金）

参加者：ミュージックサロンポップスコーラス 7名

2021年1月23日（土）

参加者：ミュージックサロンゴスペルスコーラスシャイニング 14名

2021年1月24日（日）

参加者：音の風会員 15名



音の風会員も歌や楽器で収録に臨みました

④2021年2月21日（日）14時～ 映像作品のオンライン公開

**【出演者】** 友克&ヤス with powerful family's, ふれあい会, 工房ソラ, なづな学園, かしの木学園, 大照学園授産部

**【スタッフ】** ワークショップ&作曲 こじまいづみ（花\*花）, 映像制作 平澤直幸

チラシデザイン 武田まりん, コーディネート 村上慎太郎（夕暮れ者 弱男ユニット）

**【協力】** 東山区地域啓発推進協議会, 京都市岡崎いきいき市民活動センター

**【助成】** 京都府文化活動継続支援補助金（20万円）, 京都市人権啓発活動補助金（18万3千円）

赤い羽根共同募金（10万円） 合計483,000円

「生きて生きていきたい」 作詞：スマイル出演者のみなさん&こじまいづみ  
会いたい人がいます いつも浮かぶ顔 色んな思い出や 一緒に叶えたい夢  
真夏のアイスクリーム 神護寺を見たもみじ コスモス色の道 平等院の絵を描いた  
好きなことを 好きなままで 泣いて笑って 生きて生きていきたい  
怒られるときもあります 涙が出てくることも そんな時思い出す君は今どうしてるかな  
かまくらが出来るくらいの 雪景色を一緒に見たい 冬が溶けた道 のぞくピカピカの葉っぱ達  
好きなことを 好きなままで 泣いて笑って 生きて生きていきたい  
頑張る孫 お兄ちゃん ミーコ プーちゃん 読売ジャイアンツ  
未来の私 Just say 「I love you」  
好きなことを 好きなままで 泣いて笑って 生きて生きていきたい  
好きな人を 好きなままで 胸を張って 生きて生きていけたら  
好きなことを 好きなままで 泣いて笑って 生きて生きていきたい  
泣いて笑って 生きて生きていきたい



### 「ミュージックサロン オンラインで講座」～新しい形の事業へのきっかけ

昨年度の2020年3月に緊急事態宣言が発令され、その後年度を跨ぎ2021年6月末まで、ミュージックサロンの各講座の休止を余儀なくされました。

メンバーが集まって共に音楽を楽しみ、社会に貢献することが主旨であるミュージックサロンにとっては、まさに根底を覆す大きな出来事となりました。

そのような中で、ミュージックサロンとして何か出来ることは無いかと、各講座の講師とも相談し、その結果始めたのが、「ミュージックサロン オンラインで講座」です。

参加者は、現状のミュージックサロンの会員の他に、一般の方からの参加もあり、リアルな講座と違った形で音楽に取り組むことができました。ミュージックサロンとしても、また講師陣も初めての経験であり、まさに手探り状態でしたが、参加者も積極的に関わってミュージックサロンを盛り上げていこうと歩み寄り、無事全行程を終えることができました。

そして、オンラインで講座の成果物として、リモート合奏の動画を作成し、音の風 YouTube チャンネルに公開いたしました。

この事業により、リモートオンライン化や動画作成、YouTube による広報に取り組むきっかけとなりました。

#### 【ミュージックサロン オンラインで講座】

開催期間：2020年5月～2020年7月

- ・ゴスペルコーラス（講師：濱田のぶよ）
- ・ポップスコーラス、ポップスアドバンス、子ども音楽教室  
(講師：あかしなおこ)
- ・おとな鍵ハモ教室（講師：大空倫子）
- ・ピアノ教室（講師：前滝康彦）

参加者：38名

動画作成：あかしなおこ、前滝康彦



オンラインで講座（ゴスペルコーラス）



「ミュージックサロン オンラインで講座」で作成した動画（スクリーンショット）

左上：ポップスコーラス 左下：子どもコーラス 中央：おとな鍵ハモ教室

右上：ポピュラーコーラスアドバンス 右下：ゴスペルコーラス

## 「ミュージックサロン・コンサート」～初の無観客コンサートを開催！

例年では9月に「ミュージックサロン・コンサート」を開催しておりましたが、今年度は緊急事態宣言により4月～6月の間は休止となり練習ができず、9月に成果発表が出来る状況ではありませんでした。今年度は中止という最悪の事態を避けるべく、なんとかミュージックサロン会員の皆さんの成果を披露する場を作りたいと考え、開催日程を2021年1月9日に変更し、無観客コンサート形式で開催してコンサートの模様をYouTubeチャンネルで公開することとしました。

折しも、「京都市中小企業等緊急支援補助金」を申請、6月に交付決定を受けて感染対策用品と撮影用の機材や動画編集ソフトを購入しており、コンサートに向けて操作方法の習得など準備をすすめていきました。12月になり準備も整いかけた頃、コロナ感染状況が悪化の状況となり、練習に参加出来ない方への対応として、ハイブリッド（オンライン＆リアル）レッスンを取り入れ、各講座の練習状況をYouTubeライブで配信しました。

会場となる京都市国際交流会館へは、マイクや機材の設置、映像機器への音声信号送出など、今までのコンサートには無かった事項について数回にわたり打ち合わせを行いました。撮影については機材、技術的な不足部分を補うため、外部の業者に協力いただくことで対応しました。

コンサート当日は、午前中に岡崎いきいき市民活動センター事業「社会包摶とアートシンポジウム～それしかダメってことはない」開催の後、出演者とスタッフ以外は会場には入場しないこととして、各講座の演奏を録画しました。

出演の方も初めは戸惑ってはいたものの、演奏がはじまるといつものコンサートと変わらず、明るく元気にパフォーマスを繰り広げていました。例年であれば集合写真も撮り、コンサートの後には打ち上げパーティーがあるのですが、今年は残念ながら開催できず、少し残念な気持ちを残しながらも無事全プログラムを終了しました。

1月末に動画編集を終え、2月にYouTubeチャンネルに5講座毎の動画を公開いたしましたところ、再生回数は多いもので600回を超えるものもあり、見知らぬ遠方の視聴者からの問い合わせやメッセージもありました。

### 【ミュージックサロン・コンサート】

開催日：2021年1月9日(土) 場所：京都市国際交流会館イベントホール

プログラム：京都市岡崎いきいき市民活動センター事業「社会包摶とアートシンポジウム」

NPO法人音の風「ミュージックサロン・コンサート」

出演：ゴスペルコーラス「シャイニングスターズ」

ポップスコーラス「岡崎リトルポップスターズ」

ポピュラーコーラスアドバンス「キャナリアンヴォイセズ」

子どもコーラス Comodo、中高年のためのピアノサロン

講師・伴奏者：濱田のぶよ、あかしなおこ、大谷 朝子、前川 治美

動画撮影・録音・編集：水谷 準 (ARTVID/SPA)、前滝 康彦

写真撮影：阪口 明弘

スタッフ：西野 桂子、國領 亜由美、山下 サトシ

轟 萌未（学生ボランティア）

山崎 真太郎（学生ボランティア）

助成：京都市中小企業等緊急支援補助金

京都市芸術文化協会感染拡大防止と文化芸術活動の両立支援補助金



## 「じゅうなおんがく！じゅうなダンス！」～リモートでワークショップ開催

昨年度は緊急事態宣言により残念ながら開催できませんでしたが、今年度はちょうどコロナ感染状況が小康状態の時期であり、こういう時こそ子どもたちに音楽を届けようと奮発して開催いたしました。

「Zoom クラウドミーティング」アプリを利用して、参加者側会場（錦林保育園）と山科事務所でリモートでのワークショップを開催しました。山科事務所側の講師の指導を、参加者側ではプロジェクターを使って大画面で表示して、参加した子どもたちは大喜びで歌とダンスをたのみました。

2回のリモートでのワークショップのあと、会場の錦林保育園より対面でのコンサート開催の許可が下りたので、講師ミュージシャンと共に会場に伺い、演奏、ワークショップの成果発表、即興作曲ワークショップ、そして錦林保育園の園児さんによる和太鼓の演奏セッションなど、有意義な時間を過ごすことができました。

今回のリモートワークショップで、使用機材やインターネット環境を整えることにより、対面でのワークショップと遜色なく実施することが可能であることを実証できたと思われ、今後の活動に活かせるよい経験となりました。



ワークショップ  
参加者側会場の様子  
(錦林保育園)

### 【じゅうなおんがく！じゅうなダンス】

開催日：ワークショップ 2021年3月15日(月), 22日(月) コンサート 2021年3月25日(木)

コンサート会場：錦林保育園 講師・伴奏者：あかしなおこ、富岡毅志、大前チズル、杉田英和

写真撮影：阪口 明弘 スタッフ：西野桂子、前滝康彦、北村拓哉（学生インターナンス）

助成：令和2年度 子どもゆめ基金助成金(77,600円)



コンサート講師陣の演奏



コンサートで和太鼓のセッション

### ＜2020年度 ミュージックサロン事業総括＞

昨年度末からのコロナ禍の影響により、今年度はミュージックサロン事業にとって非常に厳しい年がありました。

各講座4月から6月までの休止、歌声教室においては今年度6か月間の休止に加え、発表会の延期など、様々なマイナス要素がありました。それに対応すべく新たな取り組みを行った一年がありました。

特に、リモート化とオンライン化、動画作成・配信の技術や手法については、手探り状態ではありましたがその実用化に力をそそぎ、「集まれないグループ」を支えてまいりました。

残念ながらミュージックサロン会員の減少は避けることはできませんでしたが、事務局の意向にご賛同いただきながら、3月末時点では、少しずつではありますが復帰の兆しも見えてきております。ミュージックサロンに深く愛着を持っていただいている会員の皆さんのためにも、更なる改善や新しい取り組みは必須であります。今後も引き続き会員の皆さん的心の拠り所となるよう努力していく所存です。

また、今年度取り組んだリモート化とオンライン化、動画作成・配信の技術については、ミュージックサロン事業にとどまらず、「新たな事業」へのきっかけとなるように繋げていきたいと考えております。

事業収入：2,025,760円（前年度 2,949,560円 前年度比 -31.3%）

事業支出：2,763,504円

### 持ち前の前向きな姿勢と明るさで乗り切ろう！

岡崎リトルポップスターズは、毎年地域の施設やイベント等たくさんの課外活動をしておりましたが、今年度はミュージックサロンコンサート以外、出演出来ない状況でした。また、残念なことに、諸般の事情で活動が続けられずやむなく休会・退会された方もおられ、寂しい1年となりました。しかしながら持ち前の明るい前向きな姿勢は変わらず、ミュージックサロンコンサートでは少ない人数でありながらも、堂々と楽しくパフォーマンスを披露しました。

3月からは休会されていた会員の方も、徐々に復帰されており、以前の活気が戻りつつあります。これからも地域に愛されるコーラスグループとして、活動を続けていきます。



#### 【2020年度事業概要】

開催期間：2020年7月～2021年3月（2020年4月～6月は休講） 講師：あかしなおこ

事業収入：346,500円 事業支出：317,812円

在籍数：6名（休会者4名）、入会者数：2名、退会者数：15名（前年度末在籍数23名）

○練習 日時：第24金曜日 18:30～20:00 場所：岡崎いきいき市民活動センター

#### 【岡崎リトルポップスターズ】

“一緒にやろうよ”という岡崎リトルポップスターズの紹介記事を読んだのがきっかけで、（昨年度の）短期講座の募集に迷わず参加させて頂きました。

「上に向いて歩こう」「京都の大学生」で初舞台。ママさんコーラスから20数年、やっぱり歌はいいなと思った瞬間でした。思い出に残っているのは、かわいい保育園児達の前で披露したクリスマスソングや劇の発表です。メンバーの皆さんがノリノリで小道具や衣装を工夫して、まるで学生の頃の文化祭を準備するみたいで、毎回練習に行くのが楽しみでした。

そして、今年1月の発表会は、英語の歌詞がなかなか覚えられず、カタカナで書き直して毎朝復唱し、本番では一人1本のマイクにビビったり、スポットライトに感動した1日でした。

今は少人数での練習ですが、あかし先生の丁寧で分かりやすいご指導のもと、今年こそは色々な催しや行事に参加できますように、また、皆さんと一緒に歌えますように心から願っています。

(Report: 平 恵子)



上：スマイルミュージックフェスティバル

歌の練習ワークショップ

右：ミュージックサロンコンサート

Okazaki Little  
Pop Stars



### 歌の力で、モチベーションを上げよう！

今年度結成 6 年目となる「シャイニングスターズ」にとって、今年度は結束力を発揮できた年であったと思います。

オンライン講座、ミュージックサロンコンサート、練習の YouTube 配信等には積極的に参加され、環境の変化に柔軟に対応頂きました。幸いにもコロナ禍の影響による人員の減少も少なく、制限された活動の中でもベストを尽くし、まさに歌の力でモチベーションを上げて目的意識をもって取り組んでおられました。

次年度も引き続きモチベーションを保ちながら活動を続けていきたいと思います。



#### 【2020 年度事業概要】

開催期間：2020 年 7 月～2021 年 3 月（2020 年 4 月～6 月は休講） 講師：濱田のぶよ

事業収入：420,750 円 事業支出：391,581 円

在籍数：13 名（休会者 1 名）、入会者数：0 名、退会者数：4 名（前年度末在籍数 18 名）

○練習日時：第 1,3 土曜日 11:00～12:30 場所：space ONZO／東山いきいき市民活動センター／見性寺地蔵ホール

#### 【シャイニングスターズ】

今年度はコロナ禍で、数ヶ月、講座が休止されてしまい、「ステイホーム・人と接しない」という日々が続きました。

「もう限界？！」と感じていた頃、オンライン講座を開催していただける事になり、画面越しにシャイニングスターズの仲間と話し、共に歌う事が出来て、とても救いになりました。しばらくして、ようやく普通講座が開催されるようになりました。仲間の元気な顔に癒やされ、共に歌う喜びを感じる事が出来ました。

1 月には無観客での発表会も迎える事が出来ました。YouTube で、その様子を見た友人から「楽しそうに歌っていたね。何か元気をもらえた！」とか「みんなの 1 つの目標に向かう姿勢が良かった。感動した！」とか言ってもらえて、自分達だけでなく、周りの人々にも希望的何かを感じてもらえた事が、とても嬉しかったです。

早くコロナが終息して、地域のイベントや施設訪問などを通して、もっともっといろいろな方と、繋がっていきたいと思います。

（Report：今岡 優枝）

SHINING★STARS



上：ミュージックサロンコンサート

左：スマイルミュージックフェスティバル

歌の練習ワークショップ

## 事業報告 4-3

## ミュージックサロン事業：歌声教室

### 感染対策を施して、高齢者の健康維持のために続けよう。

本年度の歌声教室は、4月から6月までと、12月から2月までの2回休講で、6か月間の稼働となりました。参加人数延べ165名となり、昨年度延べ531人の3割程度にとどまりました。高齢者の参加者の割合が多い為、開講時間の30分短縮、参加者の人数管理・制限、フェイスシールドの配布など、感染対策を優先し安心して参加できる環境を作ることに努めました。

次年度も引き続き感染対策をしながらも、出来る限り「仲間づくり、健康づくり、自己表現の場」を提供していきたいと思います。

#### 【2020年度事業概要】

開催日時：2020年7月～11月及び2021年3月

(2020年4月～6月、2020年12月～2021年2月は休講)

講師：宮原晴彦 受付スタッフ：小野貴志、大垣広晃、吉村裕子、加藤かず江

事業収入：96,250円 事業支出：211,969円

在籍数：29名、入会者数：4名、退会者数（年度内不参加の方を含め）：29名（前年度末在籍者数 54名）

○練習日 日時：第2金曜、第4金曜 13:30～15:00 第3水曜 10:30～12:00 開催場所：岡崎いきいき市民活動センター



練習の様子

（座席間隔を空けて定員数を削減）

## 事業報告 4-4 ミュージックサロン事業：中高年のためのピアノサロン

### コロナ禍でも楽しめるピアノ演奏の魅力

中高年のためのピアノサロンが再スタートして、4年半経ちました。今年度は他の講座と同様に、休講期間やオンラインでの講座など多難な年でありましたが、新たに会員も増え比較的順調がありました。コロナ禍による「巣籠もり」の状況が、個人でも楽しめる「ピアノ」への関心に繋がったものと考えられます。

会員メンバーの方も、変わりなく日々練習を積まれ、2週間毎のレッスンにはご元気な様子で来られます。ミュージックサロンコンサートでは広いホールの中一人で演奏する機会もできて、大きな自信になったものと思われます。



ミュージックサロンコンサート YouTube 動画より

#### 【2020年度事業概要】

開催期間：2020年7月～2021年3月（2020年4月～6月は休講） 講師：前滝康彦

事業収入：330,000円 事業支出：323,120円

在籍数：8名、入会者数：2名、退会者数：0名（前年度末在籍数 6名）

○練習日時：隔週水曜日 13:00～15:00 場所：space ONZO／岡崎いきいき市民活動センター

#### 【中高年のためのピアノサロン】

月日のたつのが早いもので、家で眠っていたピアノを触ってみたいと、その機会に恵まれて4年目になります。立派なピアノで大きなホールで発表会を3回も経験できました。この歳になり緊張感を楽しませてもらえる事を幸せに思います。私事では介護や、自分の健康面、そして愛犬との別れなど、色々な節目があり、その上いつまでもとわからない今の状況の中、何かに集中できることでストレスを発散させたいと思います。前滝先生の褒め上手なご指導のおかげで、何でも出来ると思ってしまいます。これからも頑張りますので、よろしくお願いします。

(Report：山田 雅美)

# 事業報告 4-5 ミュージックサロン事業：ポップスコーラスアドバンスコース

## これからも益々グレードアップ！

今年度で発足3年目となりました「Canalian Voices（キャナリアンヴォイセズ）」は、このコロナ禍に動ぜず着実に音楽に取り組みました。練習場所や練習日時の変更もあり、落ち着かない状況にあっても、講師とメンバーの方が一丸となって、より良い音楽を目指していた姿勢は、ミュージックサロンコンサートで見事に表現されていたと思います。

まだまだ発表できる場が少ない状況が続くと思われますが、様々な形で美しいハーモニーを多くの方にお届けできるよう、益々グレードアップしていきたいと思います。



### 【2020年度事業概要】

開催期間：2020年7月～2021年3月（2020年4月～6月は休講） 講師：あかしなおこ

事業収入：277,200円 事業支出：365,902円

在籍数：8名、入会者数：0名、退会者数：0名（前年度末在籍数8名）

○練習日時：第1,3水曜日 13:00～15:00 場所：space ONZO／東山いきいき市民活動センター／見性寺地蔵ホール

### 【ポップスコーラスアドバンスコース】

音の風会員になって早2年が経ちました。

昨年度は歌っているときはもちろん、外出している時も会話を極力控えて年中マスクをしていたので、随分と喉を甘やかした1年でした。私自身アポなしで人を訪ねたいようなアナログ人間ですが、画面をフリーズさせてしまいつつリモートで声を出してレッスン出来たのはうれしかったです！

コロナ後の生活様式についてメディアでは様々なことが言われていますが、どうも人同士が離れる方向のことばかり言われているように感じます。大声で歌ったり笑ったり、人の様々な表現に触れ心搖さぶられる体験をして、感動で涙を流すことなどがどれだけヒトの免疫を高めてくれるのか。今度はそれを飛沫の飛び方で有名になった世界一のスパコン富岳が計算してくれることを祈りつつ、酔っぱらって真っ赤になった顔を皆さんの中に晒せる日を楽しみにしています！！

（Report：稻田 康一）

NPO法人 音の風



チャンネルについて



URL：<https://www.youtube.com/channel/UC-83GvySi2ZNhg7TfZVTiHg>

スマイルミュージックフェスティバル映像作品をはじめ、ミュージックサロンコンサート等、今年度の活動の動画をアップしております。私たちの活動を広く多くの方に観ていただくことを目的として、また今後の活動のツールとして、積極的に活用していきたいと考えておりますので、是非チャンネル登録、ご視聴頂きますようよろしくお願ひいたします。



## 事業報告 4-6 ミュージックサロン事業：子どもコーラス Comodo

### 子どもたちの発想は無限大！

コロナ禍において行動が規制される中、子どもたちにとっても大人以上に辛い時期であったと思います。発足3年目を迎えた子どもコーラス Comodo も、昨年のような活動は出来ない状態ではありました。練習では子ども達の「何かやりたい！」を具体化することを、そしてその中に楽しさや喜びを見出してくれるのを目的に進めていきました。

また、オンラインでの講座、動画作成、無観客でのミュージックサロンコンサート、スマイルミュージックフェスティバルのワークショップの参加など、今までにないこともたくさん経験できた1年がありました。

学校は開いているものの、子どもたちにとってはまだ窮屈な環境ではあります。そんな中でも伸び伸びと音楽に取り組み、音楽で成長できる場を作りたいと思います。

#### 【2020年度事業概要】

開催期間：2020年7月～2021年3月（2020年4月～6月は休講）

講師：あかしなおこ

事業収入：208,560円 事業支出：299,200円

在籍数：4名、入会者数：0名、退会者数：4名（前年度末在籍数8名）

○練習日時：第1,3,4木曜日 16:30～18:00

場所：space ONZO／岡崎いきいき市民活動センター



レパートリー曲をイメージして描いた絵



ミュージックサロンコンサートより

#### 【子どもコーラス Comodo】

娘が Comodo に通って2年が経ちました。

開講された頃から Comodo のことは知っていて娘も通いたいと言っていましたが、少し家から遠い場所であることと家庭の諸事情から送迎が難しく通うことを諦めました。4年生になった頃、やっぱり諦めきれず体験教室へ。

体験してみると Comodo に入りたいという気持ちがさらに大きくなり、公共の交通機関を利用して一人で通うと言い出しました。一人で通うなんて無理だと思っていたが、何度か一緒に通い、先生の協力もあり一人で通えるようになりました。

人見知りで人前で歌うことなんて遠い先の話かと思っていたが子ども同士はすぐに打ち解け、少しづつ声を出せるようになってきました。

歌をうたうことがメインの Comodo ですが、音楽をとおして一人一人の存在をしっかりとアピールできるとても素敵なクラスです。歌うこと以外にも、それぞれの個性を大切に、得意なことも苦手なこともみんなで共有して、先生がいろんなことを子どもたちに任せてくれることが、娘のやる気と楽しみに繋がっているように思います。

コロナ禍で Comodo のメンバーになかなか会えず、オンラインで再開された時にはとても嬉しそうで、みんなに会えた喜びを作文にしていたほどでした。先生は歌やピアノのプレイヤーとして娘の憧れの存在であることも、とても素敵なことだと思います。子どもの頃に経験したことが、遠い未来にまで繋がっていくことがとても楽しみです。

（Report：浦川 友記（メンバー保護者））

## 指定管理 10 年目

### コロナ禍で事業も 10 月から

2011 年から始まつたいきいき市民活動センターの指定管理は、2020 年の今年、ちょうど 10 年目でした。

10 年の節目に、多くの事業を予定していましたが、2020 年の 2 月から新型コロナウイルスのために緊急事態宣言が発令され、世間同様にセンターも連日のコロナ騒動に巻き込まれました。4 月 10 日から 5 月 31 日まで閉館し、アルバイトスタッフは全員休み。常勤 2 人のみ勤務。センターが閉館している間の利用料は、申し出があれば京都市からの返金処理があり、少額で大量の煩雑な事務作業に追われました。また閉館中は対面支援ができなかつたので、文化芸術に関する助成金情報をホームページにあげ、工夫をしながら市民活動支援に力を入れました。

例年なら 4 月から 13 事業を予定していた市民活動活性化事業も 10 月からになりました。予算は従来の総額 100 万円から半額の 50 万円になり、不特定多数の人の密をさけるため、イベントや部屋の定員を設定し、開催が難しい屋内事業などを取りやめて精査し、予定として 5 事業に絞り込みました。そして結果として 1 事業増えて、6 事業を開催しました。

人が出会えない中での、市民活動はどうしたら良いのか？私達も、手探りでの状況での貸館、事業の展開になりました。それでも、「いつから開いていますか？」と、休館中も何件も問い合わせがあり、センターの貸館が再開した時には、ご近所の方たちを中心に少しずつ来館者が増えて、高齢の利用者のかたも少人数で活動をはじめられるようになりました。大学も閉鎖中の為、学生サークルの利用もあり、施設が必要とされていると感じます。また、高齢者が多い利用者会議に Zoom を使ったことも、初めてのチャレンジとなりました。アプリのインストールも含め、フリック入力などスマート操作から説明するケースもありました。

全国一斉の緊急事態宣言が終わつた後も、京都を含む関西 3 府県で 2021 年 1 月 13 日から再度緊急事態宣言になりました。その直前に、9 月から 1 月に時期が変更された音の風のミュージックサロンコンサートと同日に開催した「社会包摶とアートシンポジウム」が、国際交流会館のホールで観客を入れながら無事に開催できました。来場者からも来てよかつたと大変好評でした。

自主事業として、ロームシアター京都で開催された Okazaki Park Stage に自粛ムードが続く中、地域の学校や当センター利用者をコーディネートする企画もでき良い関係が深まりました。

(report:曾和 泉@岡崎いきセン)

## 市民活動活性化事業報告

### ～できることを探して～

市民活動活性化事業とは、市民活動を促進するための事業です。岡崎いきいき市民活動センターでは、「市民活動支援」「地域交流」「大学・学生連携」「文化芸術交流」をキーワードに、4 つの柱で 6 つの事業に取り組みました。

#### 「社会包摶とアートシンポジウム」

イベント開催日：2021 年 1 月 9 日(土)

YouTube にアップロードした日：2021 年 1 月 22 日(金)

<https://www.youtube.com/watch?v=xnOzTlu6sqk&t=22s>

場所：京都市国際交流会館ホール

参加人数：観客 50 人、スタッフ・出演者 15 人

事業費：286,764 円

満足度：100% (ライブ&トークが良かった、とても良かった)

音の風でミュージックサロンコンサートを開催した日の午前に、全盲で車いすのミュージシャン山下純一氏のライブ&トークを、国際交流会館で開催しました。

対談相手は、滋賀県の障がい者施設「やまなみ工房」の施設長、山下完和さん。

イベントはコロナ禍で開催のため、定員 221 名のホールの半数の 100 名として申込制にしましたが、1 月 13 日より緊急事態宣言が関西の 3 府県に出ることになったため、その直前の開催で中止も検討され、キャンセルもあり観客は 50 名にとどまりました。

しかしライブとトークの模様は録画し、後日多くの方に見てもらえるように YouTube にアップしました。

本イベントでは、観客の方に「社会課題への様々な気づき」を持ってもらい、自らができる何かをはじめるということを期待していました。参加者アンケートから障がいに対する考え方、捉え方について様々な感想と「できることをしたい」「勇気をたくさんもらえた。」と多くの熱いメッセージが寄せられ、市民活動へつなげることができたと思います。



## 市民活動支援事業「レコードを聴く会 2020 後期」

日時：2020年10月～3月 月2回土曜日 計11回

10/17(土)日本の歌手も歌ったカントリーオーネ

10/31(土)ニッポン珍曲コレクション

11/7(土)アメリカ音楽のルーツを聴こう VOL.6

11/28(土)ビートルズを聴きながらアコギで歌う

12/12(土)学園ドラマ

●12/26(土)新川達郎・ジャズボーカル

1/16(土)Jazzの世界をレコードと楽器で楽しみましょう

1/23(土)SP・LP盤で聴く懐かしいカントリー＆ウェスタン

●2/20(土) いしいしんじ★スペシャル

2/27(土)「メタルでポン」HR/HMのレコードを聴こう

3/6(土)レコ合戦

(●は、センターから依頼し報酬を出している方。他は市民による企画)

場所：岡崎いきいき市民活動センター和室

参加人数：5名～20名（定員 20名まで）

事業費：48,386円

市民企画による、毎月のレコードを聴く会は例年は第4土曜日ですが、今年度は9月までの企画が開催できなかつたため、平均して月2回開催しました。

昨年までは申込不要でしたが、定員20名を厳守するため、申込制とし、また新型コロナの感染のリスクの注意事項が書かれた紙のチェックと共に連絡先を記入してもらいました。企画者の前にもアクリル板をたてています。



3月に開催したレコ合戦（企画者一同がが数分の中で交代でレコードをかける）では、遠隔地から一人YouTubeでの参加もありました。

企画者も参加者も高齢の方も多いですが、コロナ対策をきちんとしていると参加者からも評価いただき、参加者も緊急事態宣言下でも変わりなくありました。

## 大学・学生連携事業

### 「岡崎ワールドミュージックフェスタワークショップ」

日時：2020年10月24日（土）

場所：ロームシアター京都、ロームスクエア（ロームシアター京都の中庭）

参加人数：スタンプラリー参加者120人（内こども85人）

ボランティアスタッフ：センター利用者13人

事業費：5,995円

岡崎ワールドミュージックフェスタは、地域団体あつまるつくるやロームシアター京都が



中心となって開催される音楽イベントです。本来ならば、当センターが動物園や美術館などをつなげる役割ですが、今年はコロナの為、できる施設ができる方針になり、当センターは利用者の方の手を借りて子ども向けのスタンプラリーを開催しました。

スタンプはロームシアターの建物の中・外のあちこちに設置し、密を避けて子どもたちが動き回れるようにしました。子ども限定でひょうたん楽器の作成キットをプレゼントしたところ、会場内のワークショップエリアでは、少し密になりすぎるほどにぎわう時間帯もあり大変好評でした。またボランティアとして受付やワークショップを担当した利用者も、楽しかったと充足感を感じておられました。

## 市民活動支援事業 「新しい生活スタイル」に沿ったサークル支援 チラシ編

日時：2020年10月チラシ発行

参加団体：30団体

事業費：13,835円



チラシ：A3カラー両面2つ折り2000部発行

年間を通して使えるサークル活動紹介のチラシを作成し、メンバー募集など活動の活性化をねらいました。今年度はコロナ禍のため、高齢者が多い、人数が多い、距離が近い、歌を歌うなど、サークル活動の中でも感染を心配する声が多く上がり、定期的な活動ができない団体がいくつもありました。またその一方で、自粛ばかりではなく、今の状況下でできることをしたいという声も多く、センターで活動をしている団体の連絡先を書いたチラシを、広く京都市の施設等に配りました。

半数以上の団体で問い合わせがあり、掲載に漏れた2団体からも次回は載せてほしいという要望がありました。センター利用者も、チラシを見て他のサークルにも言っておられる方も複数人あり、活動の広がりを感じます。

## 市民活動支援事業「岡崎いきいきスマホ教室」 ～オンライン旅行をしてみよう～

開催日：2021年3月7日(日)

場所：岡崎いきいき市民活動センター会議室1

参加人数：5名（内1名は事前に参加）

事業費：18,350円(アクリル板購入)

講師：吉田 匠（いきセン大学生スタッフ）



センターで開催した利用者会議で、Zoomに戸惑う中高年利用者を見て、アルバイトスタッフ吉田さんがスマホ教室の開催を提案してくれました。

申込段階で1名だけiPhone利用者で、アプリの操作方法が違ったので、事前練習を兼ねて先に1対1で開催し、その後4名の参加者で、旅行を想定して、検索、地図アプリ、天気アプリなどを使いました。

終了後は、各自の個別質問の時間も1時間設定したので、参加者は熱心に問合せをしておられました。また、次回も違うことを教えてほしいと意見が寄せられていました。

## 地域交流連携事業 「岡崎ガーデン俱乐部10周年」

報告会日程＆場所：2020年12月20日、岡崎いきいき市民活動センター会議室1

冊子発行：2021年3月 A4サイズ24p 800冊

参加人数：報告会9名

事業費：82,035円

今年はセンターの指定管理を始めてちょうど10年目になります。初年度から取り組んできた景観、デザイン、環境等の向上に取り組んできた活動も10年間継続したことになります。今ではこれらを、



岡崎ガーデン俱乐部と呼んでいます。いつもなら利用者や近隣の市民と共に、種をまき花を植えたりする活動は、今年はスタッフのみで開催する時期もありました。

その10年間を総括する会議を12月に開催し、3月には10年間の活動をまとめた冊子を作成しました。毎年わずかな変化しかないですが、継続的な活動で大きな変化を生み出したことの大切さを報告会と冊子の作成より実感しています。



## 自主事業事業報告

ロームシアター京都の事業に協力し、地域や利用者の連携につなげました。

## 自主事業「Okazaki Park Stage 連携コーディネート」

日時：2020年10月4日(日), 18日(日)

場所：ロームシアター京都ロームスクエア

コーディネート：10/4 3団体（白川総合支援学校 和太鼓部、夢街道（オカリナ&ギター）、オフィスKAJA（狂言））  
10/18 4団体（京都文教中学高等学校ダンス部、フロイデギター、ミラクルアンサンブル35（チェロ）、京都大学能楽部クラブ宝生会OB会）

ロームシアター京都が開催する Okazaki park Stage に地元の学校等をコーディネートしました。今年は合唱などが困難なため、当センターを利用している市民団体も出演してもらいました。



イベントや文化祭などもない中、出演者が貴重な機会だと快諾され、全出演者に喜んでもらえました。また、ロームシアター京都にも地域の団体をつなぎ、多彩な出演団体をコーディネートしてイベントを多方面に伝えることができたと評価をうけています。

その後のロームシアター京都より音の風に依頼された、アーティストと地域団体（子どもや障がいのある方々）のコーディネートにつながる事業にもなったと思っています。

# 理事会・事務局

## 理事会の開催

2020 年度は 4 回理事会（オンライン）を開催しました。

第1回：6月3日（水） 第2回：10月29日（木） 第3回：12月22日（火） 第4回：3月22日（月）

## 会報

毎月 1 回情報発信や連絡共有として「会報」と「活動日のお知らせ」を発行しております。

作成には活動報告や、活動紹介など寄稿いただいて発行しております。会報作成には校正チェック要員として会員の皆さんにご活躍いただいている。また、多くの会員さまにメーリングリストによる受信方式に変更していただき、郵送作業の件数は 13 名にまで削減することができました。

2020 年度は 12 回発行しました。（校正、寄稿協力：平井・菊地・庄林・前滝・西野）

## 事務局

2020 年度は新型コロナ感染症に関する活動ガイドラインが作成され、会員や利用者には同意書の提出を求める、活動者には健康管理チェックシートを提出いただくなど、これまでの通常業務に加えて細かい業務がかなり増えました。

会報発送（郵送業務削減）など業務の効率化も進めている一方、新年度に向けて会員種別の改定を行うなど新たな手続きが増えたため、全体としての作業量を減らすことは困難でした。業務改善をすすめるために、引き続き業務体制の見直しを行っていきます。

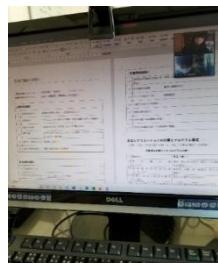
会員数については、前年度 115 名より退会 14 名、入会 10 名により、会員数は 111 名となっており、全体として 4 名減となっています。（2021 年 3 月 31 日付）。2020 年度は、入会・資料請求等の問い合わせは 18 件あり 10 名の方に入会していただきましたが、一方で退会者も多く、全体としての会員増にはつながっていません。次年度においては更に退会者希望者が増えている傾向にあり、引き続き広報活動や情報発信に力を入れていく必要があります。

## ～楽譜販売～

2014 年度に音楽ボランティア活動のための曲集（高齢者編）の改訂版を出版しました。音の風会員には、会員価格での販売も行っています。今年度は、新規会員による購入などにより、合計 6 冊の購入がありました。

## ～オンライン音楽ボランティア入門講座の開催～

2020 年度は、ほとんどの音楽ボランティア活動が中止となりましたが、この自粛期間中に今後の活動を見据えて何かできないか？と、新入会員を対象に、Zoom を利用した音楽ボランティア入門講座を開催しました。11 月から月 1 回（計 5 回）開催、毎回 1～3 名の新入会員が受講しました。



Zoom で資料を解説  
右上には参加者

オンラインでどんなことができるだろう？と試行錯誤しながらではありました。プログラム作成から、実際の曲を練習してみたり、一緒に演奏をするなど、予想以上にできることが多いことに気づきました。最終回では、活動リーダーにも参加していただき、普段の活動の様子を紹介しあい、今後の活動につながるよう、交流を深めました。

今まで活動に行きたくても忙しくて練習に参加できないという方もありましたが、オンラインを活用することで、自宅にいながら活動メンバーとの打ち合わせや、簡単な練習ができるということがわかりました。コロナ収束後の活動の広がりに期待しています。

リモートという形で、複数人とお話しするという事に興奮していました。音の風の活動をいろいろ聞き、早く私も皆さんと活動したいなあとワクワクしました。音楽をたくさん楽しみたいです。

（Report：細野和子さん）

## ～学生インターンシップ～

NPO 法人ドットジェイピーが主催する、「NPO インターンシッププログラム」（大学生が長期休暇の 2 ヶ月間、提携団体に派遣し行動を共にする事で、仕事に対する姿勢や思い、社会とつながりを知る体験学習プログラム）に参画し、本年度は 1 名の方を受け入れました。

●2021 年 2 月～3 月 北村拓哉さん

ミュージックサロン事業の広報、「じゅうなおんがく！じゅうなダンス」のスタッフとして携わっていただきました。

# 2020 年度のあゆみ

	4月	5月	6月	7月	8月
できごと			<ul style="list-style-type: none"> <li>6/21 総会</li> <li>6/30 space ONZO 閉館</li> </ul>	7/1 山科事務所 開所	
音楽ボランティア アーティスト 派遣事業				 LPW ライブ活動 @法然院	
ミュージック サロン事業			<p>緊急事態宣言により通常講座を休講</p> <p>「オンラインで講座」</p> 	<p>通常講座再開</p> <p>リモート動画 作成・配信</p> 	
スマイル ミュージック フェスティバル事業				 第1回実行委員会	
岡崎いきいき 市民活動センター 事業	 4/10から 5/31まで休館		 6/19 space ONZO より グランドピアノを 会議室1に移動	 次の指定管理のための サウンディング調査の 資料作成	

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		 オンライン音楽ボランティア 入門講座開催（計5回）				
 ボランティア派遣 @月輪学区すこやか学級		 アーティスト派遣 @朱雀第三学区				
ミュージックサロン コンサート 1/9に延期				歌声教室休講		
			 ミュージックサロン コンサート	 ミュージック サロン コンサート 動画公開	 じゅうなおんがく じゅうなダンス！	
		スマイル曲作り ワークショップ開催 		 スマイル 映像作品公開		第2回 実行委員会 
 Okazaki Park Stage コーディネート 文教中学高等学校 ダンス部	 レコードを聞く会 10月より月2回の ペースで開催	 岡崎ガーデンクラブ 10周年報告会	 山下純一トーク&ライブ 「それしかダメって ことはない」	 岡崎ガーデンクラブ 10周年報告冊子発行		

# 2021年度 事業計画案

## 音楽ボランティア派遣事業

### ●事業の目的と内容

音楽による余暇活動の支援を目的に音楽ボランティアを派遣する。通常1施設につき1名～5名程度がグループを組み、進行者、伴奏者、楽器配布や歌詞の準備をするなど役割分担をして、約45分～60分のプログラムを進める。季節の歌や懐かしい歌の歌唱、歌やリズムを使った体操、楽器の合奏など、主に参加型のプログラムを提供する。

### ●事業計画

音の風コロナウイルス感染症対策のガイドラインに基づいて活動の実施もしくは中止するかを判断し、活動を実施する場合には感染予防対策を徹底する。状況が好転した際に、スムーズに活動が再開できるよう、会員に対してメールやSNSなどを通じて情報共有を行う。

## アーティスト派遣事業

### ●事業の目的と内容

コンサート、音楽療法、音楽レクリエーション、音楽レッスン、ワークショップ講師、講演会など、専門的なスキルを必要とする依頼に対して派遣を行う。

### ●事業計画

音の風コロナウイルス感染症対策のガイドラインに基づいて活動の実施もしくは中止するかを判断し、活動を実施する場合には感染予防対策を徹底する。オンデマンドを活用した音楽活動の可能性も検討する。状況が好転した際に、スムーズに活動が再開できるよう、会員に対してメールやSNSなどを通じて情報共有を行う。

## ミュージックサロン事業

### ●事業の目的および本年度方針

音楽の練習を通して参加者の生きがいや居場所をつくりだすとともに、日ごろの練習の成果を地域に還元できるよう、社会貢献を目指した音楽活動を行う人材の育成に取り組む。

今年度もコロナ禍の影響は続くと予想され、特に上半期は現状維持しながらも、下期以降の世情の変化に合わせて増員につながる準備に重きを置くこととする。各講座については国や自治体からの休業要請がない限りはガイドラインに沿って通常開催とする。(歌声教室については、高齢者への感染対策を優先として休止する場合がある。)また、必要応じて昨年度実施のハイブリッド対応は適宜行う。

## ポップスコーラス（岡崎リトルポップスターズ）

### ●事業の目的と内容

皆でハーモニーを奏でながら歌うことの喜びを味わってもらうと共に、音楽活動を通しての世代間交流を図る。

2020年度で結成8年を迎える、地域に根ざしたコーラスグループとして、音楽活動を通じて社会貢献する人材育成を図る。

### ●事業計画

昨年度のメンバー減少を補填すべく、退会・休会者への勧誘、広報強化する。生徒募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。年度内15名体制を目標とする。

## ゴスペルコーラス（シャイニングスターズ）

### ●事業の目的と内容

ゴスペル音楽を通してメンバー間の交流を促し、音楽の楽しみや喜びを味わうとともに生きがいづくりに貢献する。2021年10月で結成7年を迎える、結束力が強く現状の良い雰囲気を保持しながら活動し社会貢献につなげる。

### ●事業計画

ゴスペルの認知度を活かし、チームの利点をアピールできる広報活動を考慮する。生徒募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。年度内増員2名を目標とする。

## 中高年のための歌声教室

### ●事業の目的と内容

地域の中高年を対象に、参加者によるリクエストを中心に、唱歌や歌謡曲・童謡などの齊唱を楽しんでもらう。また、歌唱を通した健康づくり、参加者同士の交流に貢献できるようなプログラムを実施する。

### ●事業計画

高齢者へのコロナ感染拡大抑制対応（感染対策の強化、入場者制限、開催時間の短縮）に配慮しながらも、健康維持のため継続できるよう工夫する。

## 中高年のためのピアノサロン

### ●事業の目的と内容

中高年の方々を対象としたオープン型のピアノレッスンで、クオリティ・オブ・ライフの向上と参加者同士のコミュニケーションを図る。

### ●事業計画

生徒募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。10人以上の体制に向けての運営対応を整える。

## ポップスコーラスアドバンスコース

### ●事業の目的と内容

より高度なコーラスを追求し、ジャンルを問わずコーラスを楽しめる時間を提供する。受講者に地域と触れ合う機会を提供し、社会貢献を目指した音楽活動をおこなう人材の育成を図る。

### ●事業計画

生徒募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。年度内増員2名を目標とする。

## 子どもコーラス Comodo

### ●事業の目的と内容

小中学生を対象に、「音楽技術習得の場」としてではなくて、「音楽で子ども達への成長の助けや自立を促す事」をコンセプトとして、地域と触れ合う機会と、社会貢献を目指した音楽活動経験を提供する。

### ●事業計画

昨年度のメンバー減少を補填すべく、生徒募集に向けてWEB、SNSでの発信等、広報活動を継続する。年度内8名体制を目標とする。

## ミュージックサロンイベント事業

### ●事業計画

- ① ミュージックサロンコンサート（2021年9月11日ロームシアター京都ノースホール）
- ② 高齢者向け「健康音楽体操（仮）」開講準備。その他可能であればオンラインを活用したイベントを開催する。

## 岡崎いきいき市民活動センター

指定管理を開始して10年となる。岡崎地域において地域に根差した活動が定着し、地元団体のコーディネートがスムーズにできるようになった。指定管理期間としては、第3期の最終年3年目を迎え、次期の指定管理に向けて申請書を作成する。昨年からの「文化芸術における社会的包摂」に関する事業をさらに深めていく。

- ・第4期指定管理募集（7月）
  - ・事業費（予算削減のため、例年より50%減の50万円で実施する）
- ①市民活動支援事業「レコードを聴く会」（年10回）、いしいしんじさん、新川先生によるレコードを聴く会（年2回開催）
- ②文化芸術交流連携事業「社会包摂とアートシンポジウム」（9/11 ロームシアター京都にて開催）
- ③大学・学生連携事業「岡崎ワールドミュージックフェスティワークショップ」（10/17開催予定）  
「健康リズム体操」
- ④地域交流連携事業「岡崎わいわい文化祭」（2月開催）「岡崎ガーデン倶楽部」「岡崎まち歩き～アートを巡る～」
- ※コロナウィルス感染症の影響により活動を中止・変更する可能性がある。

## スマイルミュージックフェスティバル事業

### ●事業の目的と内容

「障害のある方もない方ともともに音楽を楽しむイベント」として東山区の4つの機関（NPO法人音の風、京都市東山区社会福祉協議会、京都市東部障害者支援センターらくとう、京都市東山青少年活動センター）で実行委員会を構成し運営を行う。

### ●事業計画

昨年度に引き続き、来場型による開催の見通しが立たない状況ではあるが、できる形を検討する。

## 事務局

### ●事務内容の見直しや作業の効率化を図る。

### ●正会員・賛助会員・ミュージックサロン会費徴収の合理化を図る。

### ●時流にあわせてホームページ、SNSを活用する。

## 2021年度役員・人員体制

### ●2021年度役員

代表理事：西野桂子

副代表理事：國領亜由美

理事：滋野浩毅、木下裕史、馬場雄司、山下聰

監事：庄林幸士

### ●事務局体制

スタッフ：西野桂子、前滝康彦、森亜紀

アドバイザー：岡本芳孝、小野貴志

サポートスタッフ：小野貴志、大垣広晃、吉村裕子、加藤かず江、菊地美紀子、平井寛爾、山下聰

### ●岡崎いきいき市民活動センター

センター長：西野桂子

常勤職員：曾和泉、斎藤真人

非常勤職員：岡田美智子、長尾操、高見美智子、龍怜子、吉田匠、吉田遙、吉田啓子、ヘイナ啓子

## 会員交流

### ●目的と内容

会員間の親睦を目的として開催する。

### ●実施計画

会員の主体的な提案に基づき交流会を開催する。

※コロナウィルス感染症の影響により活動を休止することもある。

## 賛助会員・寄付者について (敬称略・順不同)

### 【2020年度賛助会員】

個人賛助会員：森本好子 大平ひろみ 大重博光 足滝彩 中東清美 中岡靖介 新山隆司 酒谷宗男  
仲瀬素市 西田真美 池田真夕里

### 【2020年度寄付者】

池田真夕里 山口彰一郎 溝川義治 松延暢子 西田憲司 岡本芳孝 望月雪枝 國領亜由美

当会の活動にご賛同・ご協力いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。これからも素敵な音楽活動をお届けするために、取り組んでまいりたいと思います。

## 関係先

### ●スマイル実行委員会

社会福祉法人京都市東山区社会福祉協議会,  
京都市東部障害者地域生活支援センターらくとう,  
京都市青少年活動センター

### ●連携先

東山区社会福祉協議会, 京都市福祉ボランティアセンター, 京都市市民活動総合センター, 下京区社会福祉協議会, 京都市岡崎いきいき市民活動センター, 左京区社会福祉協議会, 東山区地域啓発推進協議会 他

### ●岡崎いきいき市民活動センター 連携先

京都市文化市民局地域自治推進室, 京都市岡崎魅力づくり推進協議会, 岡崎自治連合会, 左京区地域力推進室  
錦林小学校, 岡崎中学校, 錦林児童館, 京都文教中学, 高等学校, 岡崎幼稚園, 聖護院保育園, だん王保育園,  
左京区社会福祉協議会, ロームシアター京都, 京都市動物園, 府立図書館

### ●NPO 法人 ドットジェイピー (学生インターンシップ)



岡崎いきいき市民活動センター指定管理業務（文化交流連携事業）

社会包摃とアートシンポジウム

# ありがとう！「サポートセンターめい」

「サポートセンターめい」（京都市上京区御前通下立売上ル2丁目仲之町285）が、2021年4月より移転となり、長きにわたり活動してまいりました音楽ボランティア派遣を終了することになりました。

音の風創立の年である、2003年の12月から約17年間、定期活動を継続できることに感謝の気持ちを表して、活動に加わった会員の皆様からのメッセージをここに掲載いたします。

昨年の2月以降活動が休止となり、定期活動メンバーの菊地美紀子さんが、「こんな時でも、何かできることないか」と、定期活動のオープニング曲「勇気100%」のリモート合奏動画制作を企画されました。定期活動のメンバーの他、音の風会員有志の参加により、6月に完成公開されました。

(<https://www.youtube.com/watch?v=CMs36NvmAc4>)

再開は叶いませんでしたが、またの機会があることを願って、心からの「ありがとう！」を送ります。



「勇気100%」動画参加者

平井莞爾さん、池田宏子さん、畠 邦子さん、中田憲吾さん、中田幸恵さん、吉田五月さん  
熊谷朝海さん、米谷亜由美さん

## 活動メンバーからのメッセージ

コロナ下のご決断を受けて、今は、大きな感謝の気持ちと悲しみを感じています。自分の人生にとって音楽は、仕事との両輪で、大切なものです。大切に続けています。

ひとえに音楽と言っても様々ですが、めいの音楽は自分が思う素敵なお音楽の在りようでした。ここでは、利用者さんをはじめ、それ以外の人も含めて、主人公が入れ替わり立ち替わりしました。音楽は、その触媒や背景として、自然とそこにあったと感じます。

「そこにその人がいる事を感じ合う場所。」それは、演奏者だけの力で作れるものでは勿論なく、司会者だけの力でも無く、そこに関わるヘルパーさん、職員さん、そして利用者さん、毎回セッションに参加する人たちが、「今から皆でめいの音楽をする」という目標を見つめ続けてきたことで生まれた場だったと思います。

大切なものは何時も無くしてから気づくと言いますが、自分にとっては、もはや日常に組み込まれていた「めい」は大切な場所になっていました。

めいは一旦終了しましたが、コロナ明けには、めいのメンバーを基盤にした音楽の機会を作る事も出来ると信じています。また、お会い出来る日を楽しみしております。長きに渡り自然なお付き合いをいただき、本当にありがとうございました。

中田憲吾

### サポート「めい」の想い上

始めに訪問したのは、中村さんの説いて  
平成22年でした。  
行き始めは、なかなか利用者の方々に  
認めて貢えず、ふれ合へんとまどりを感じ  
てから滑り出でました。  
毎回訪問しているとやつづねの顔  
を認知されてハクタッチャ挨拶をして  
くれたりして訪問者の一員と分けて下  
さり、中でもチエさんは私の演奏を指命  
してくれたり、又チエさんはオカリナの  
演奏を私が伝えて歌ってくめたり  
毎回利用者の反応が半1みでいた。  
スタートから共に和やかいいで、あろ呼  
びの音、私の「いつの葉」を貼るとよい  
等と教えて下さったのを実行したりを覚  
えています。  
「聖者の行進」で始まり「大きな右耳計」  
で終る活動の色々のシーンを想い出します  
「思ひは見えないが思ひやりは見える」との  
れり行動が通じる事を感じた活動で  
1点。

# 新聞に掲載していただきました



西野代表のインタビュー記事  
「音楽で地域を元気に」  
「誰か」のために奏でる  
京都新聞 2020/09/15掲載



「スマイルミュージックフェスティバル  
ワークショップ開催」についての記事  
京都新聞 2020/12/02掲載



スマイルミュージックフェスティバル映像作品  
「生きて生きていきたい」についての記事  
京都新聞 2021/3/30掲載

笑顔つながる  
音でつながる



NPO法人 音の風